

Denka

2014年度 決算説明会

できるをつくる。

2015年5月12日

1. 2014年度 決算概要

- ① 前年比(まとめ) P. 1
- ② 前年比(増減要因) P. 2
- ③ 前年比(セグメント別) P. 3

2. 2015年度 業績予想

- ① 前提条件等 P. 4
- ② 前年比 P. 5
- ③ 前年比(増減要因) P. 6
- ④ 前年比(セグメント別) P. 7
- ⑤ 四半期別予想(概算) P. 8

3. 経営計画「Denka100」 / 数値目標と新成長戦略

- 数値目標と新成長戦略 P. 9
- 具体的施策① P. 10
- 具体的施策② P. 11
- 具体的施策③ P. 12
- 経営体制の強化 P. 13

4. 最後に～次の100年に向けて P. 14

Denka 1. 2014年度決算概要 ① 前年比(まとめ)

単位: 億円

	実績	前年	増減	主な増減要因
売上高	3,840	3,768	+ 72	エラストマー・機能樹脂 + 4 インフラ・無機材料 ▲ 13
(海外売上高の割合)	(36.3%)	(33.5%)	(+ 2.8%)	電子・先端プロダクツ + 37 生活・環境プロダクツ ▲ 3 その他・消去 + 2
営業利益	240	212	+ 28	← + 28
(営業利益率)	(6.3%)	(5.6%)	(+ 0.7%)	為替差益 他 + 9
経常利益	243	206	+ 37	← + 37
				特別損益 (-3 → 27) + 30 少数株主持分・法人税等 ▲ 13
純利益	190	136	+ 54	+ 54

Denka 1. 2014年度決算概要 ② 前年比(増減要因)

単位:億円

売上高 3,840 (+ 72)

- ① 数量差: 電子・先端製品の販売増他 (+ 66)
- ② 価格差: 円安 > 原料安に伴う売価改定 (+ 6)

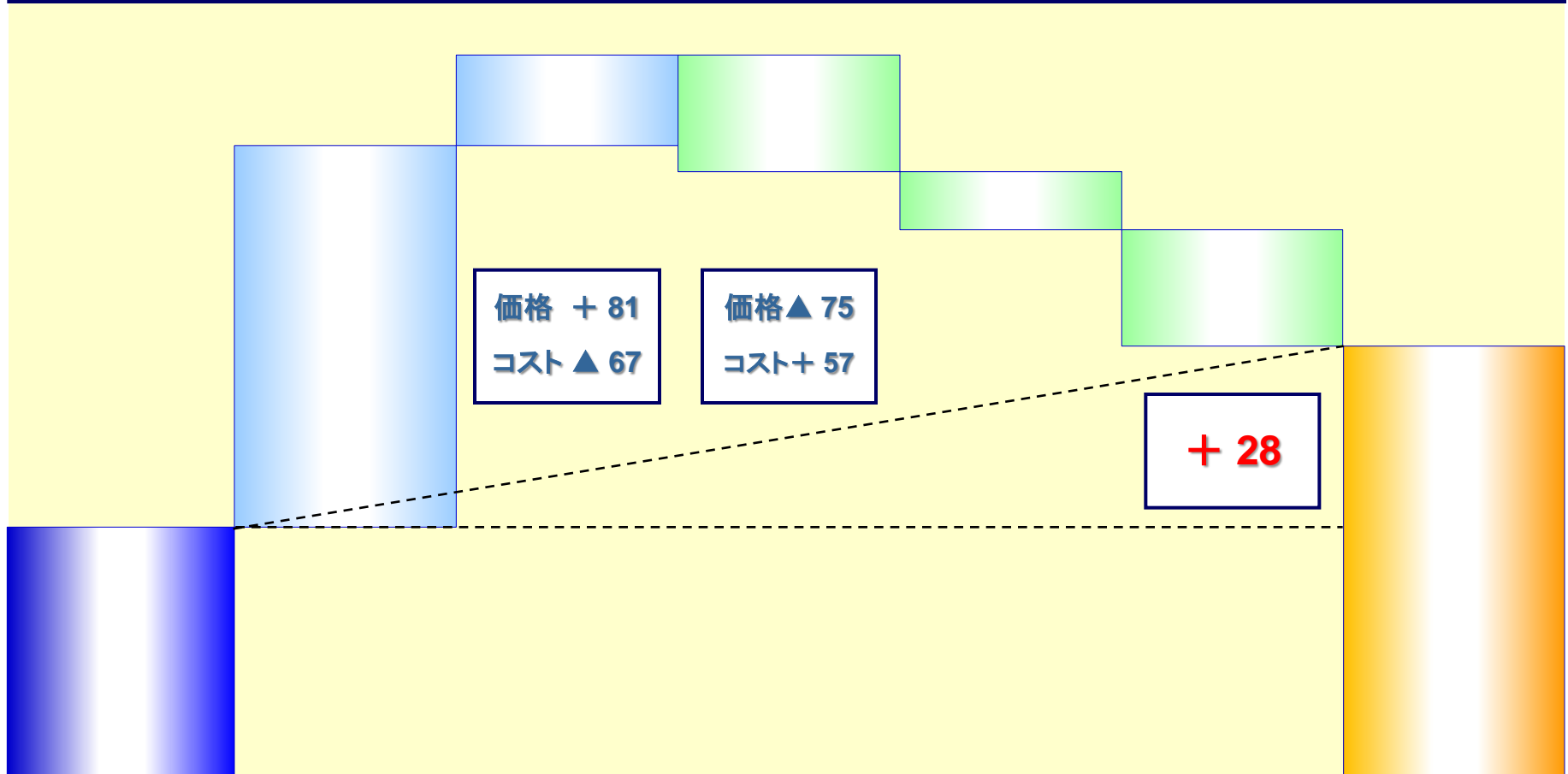
営業利益 240 (+ 28)

- ① 数量要因: 電子・先端製品の販売増他 (+ 59)
- ② 円安メリット: 価格 + 81 > コスト ▲ 67 (+ 14)
- ③ 原燃料価格変動: コスト + 57 価格 ▲ 75 (▲ 18)
- ④ SM定修負担増他 (▲ 9)
- ⑤ 先行投資負担: 海外展開加速・研究開発他 (▲ 18)

Denka 1. 2014年度決算概要 ② 前年比(増減要因)

単位: 億円

2013 実績	数量増	円安 刈ッ	原燃料 価格変動	定修要因等	先行投資 負担	2014 実績
212	+ 59	+ 14	▲ 18	▲ 9	▲ 18	240



Denka 1. 2014年度決算概要 ③ 前年比(セグメント別)

単位:億円

売上高	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	1,663	1,665	▲ 2
インフラ・無機材料	478	496	▲ 18
電子・先端フロッタックツ	483	421	▲ 62
生活・環境フロッタックツ	802	780	▲ 22
その他	414	406	▲ 8
合計	3,840	3,768	▲ 72

販売価格差	数量差
3	▲ 5
3	▲ 21
▲ 8	▲ 70
8	▲ 15
-	▲ 8
6	66

営業利益	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	44	40	▲ 4
インフラ・無機材料	27	40	▲ 13
電子・先端フロッタックツ	64	27	▲ 37
生活・環境フロッタックツ	92	95	▲ 2
その他 / 消去差	14	11	▲ 2
合計	240	212	▲ 28

販売価格差	数量差	コスト差等
3	3	▲ 2
3	▲ 8	▲ 8
▲ 8	51	▲ 6
8	11	▲ 21
-	3	▲ 1
6	59	▲ 37

Denka 2. 2015年度業績予想 ① 前提条件等

単位：億円

前提条件	2015年度 予想	2014年度 実績		2015年度 第2四半期 予想	2014年度 第2四半期 実績	
為替レート [円/\$]	118.0	109.9		118.0	103.0	
国産ナフサ [円/Kg]	52,000	63,700		52,000	70,350	
参考数値	2015年度 予想	2014年度 実績	増 減	2015年度 第2四半期 予想	2014年度 第2四半期 実績	増 減
設備投資額	240	213	27	120	80	40
減価償却費	230	230	▲ 0	110	114	▲ 4
研究開発費	117	111	6	60	56	4
有利子負債残高	1,300	1,225	75	1,400	1,301	99

Denka 2. 2015年度業績予想 ② 前年比

単位：億円

	2015年度 予 想			2014年度 実 績		
		4～9月	10～3月		4～9月	10～3月
売上高	3,900	1,850	2,050	3,840	1,869	1,971
営業利益	300	125	175	240	94	146
(営業利益率)	(7.7%)	(6.8%)	(8.5%)	(6.3%)	(5.0%)	(7.4%)
経常利益	270	110	160	243	94	149
当期純利益	190	80	110	190	75	116

Denka 2. 2015年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位:億円

売上高 3,900 (+ 60)

- ① 数量差: スチレンモノマー・インフラ関連製品等の出荷増 (+ 218)
- ② 価格差: 原料安に伴う売価改定 (▲ 158)

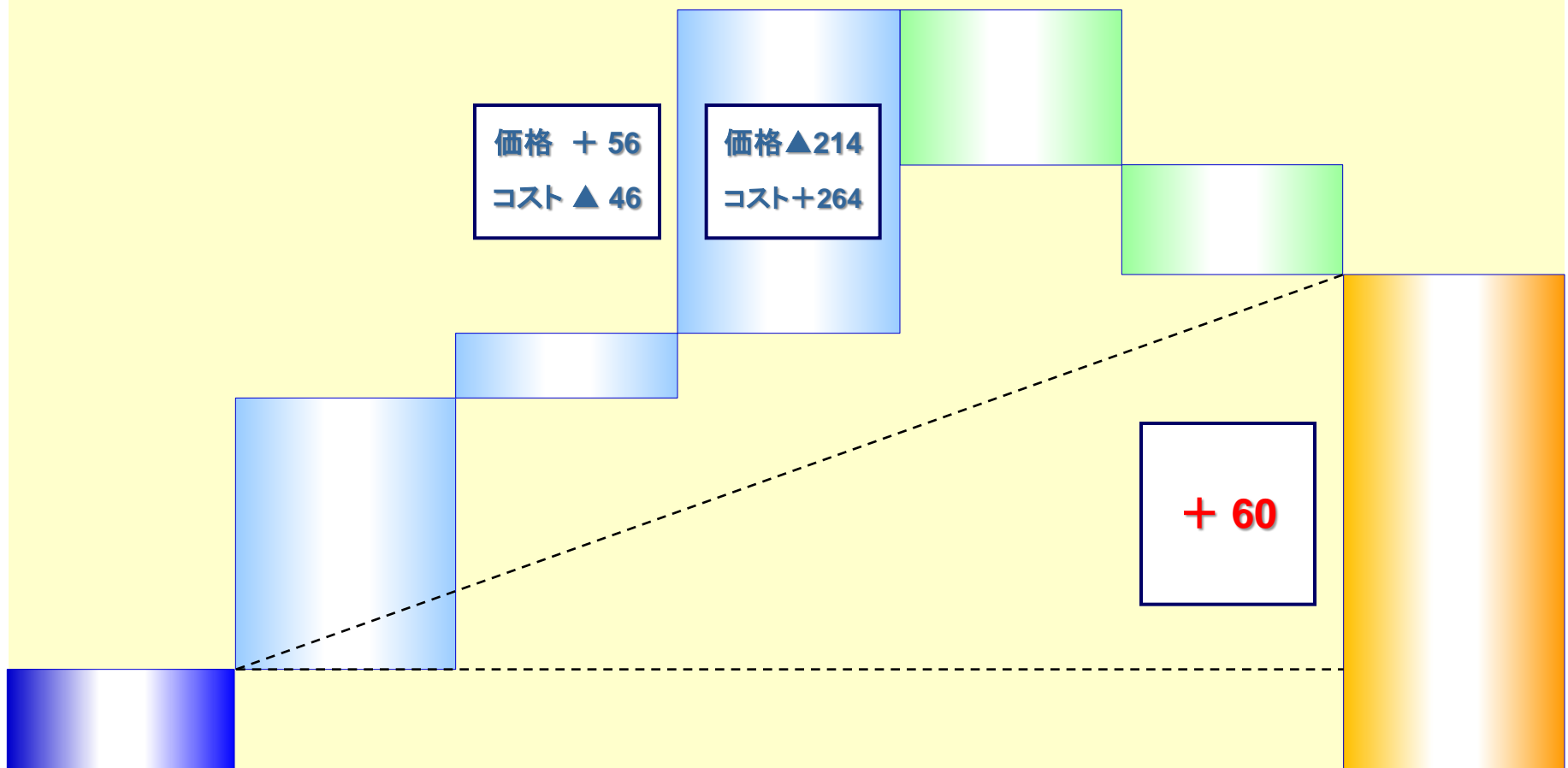
営業利益 300 (+ 60)

- ① 数量要因: 高付加価値品の販売増他 (+ 42)
- ② 円安メリット: 価格 + 56 > コスト ▲ 46 (+ 10)
- ③ 原燃料価格変動: 価格 ▲ 214 < コスト + 264 (+ 50)
- ④ コスト増: 賃金改定による労務費他のコスト増 (▲ 24)
- ⑤ 先行投資負担: 海外展開加速・研究開発他 (▲ 17)

Denka 2. 2015年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位: 億円

2014実績	数量増	円安 刈ッ	原燃料 価格変動	コスト増	先行投資 負担	2015 予想
240	+ 42	+ 10	+ 50	▲ 24	▲ 17	300



Denka 2. 2015年度業績予想 ④ 前年比(セグメント別)

単位:億円

売 上 高	2015年度	2014年度	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	
エラストマー・機能樹脂	1,600	1,663	▲ 63	▲ 146	83	
インフラ・無機材料	550	478	72	11	61	
電子・先端フ°ロタ°クツ	500	483	17	▲ 15	32	
生活・環境フ°ロタ°クツ	800	802	▲ 2	▲ 8	6	
そ の 他	450	414	36	-	36	
合 計	3,900	3,840	60	▲ 158	218	
営 業 利 益	2015年度	2014年度	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	80	44	36	▲ 146	6	175
インフラ・無機材料	30	27	3	11	16	▲ 24
電子・先端フ°ロタ°クツ	70	64	6	▲ 15	30	▲ 8
生活・環境フ°ロタ°クツ	110	92	18	▲ 8	▲ 10	36
そ の 他 / 消 去 差	10	14	▲ 4	-	▲ 0	▲ 3
合 計	300	240	60	▲ 158	42	175

Denka 2. 2015年度業績予想 ⑤ 四半期別予想(参考・概算)

単位:億円

営業利益							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度
2015年度予想	45	80	125	95	80	175	300
2014年度実績	29	65	94	80	66	146	240

数値目標（2017年度）

連結営業利益	600 億円 以上
営業利益率	10% 以上
海外売上高比率	50% 以上

新成長戦略

- ① 生産体制の最適化
- ② 徹底したコストの総点検
- ③ 成長ドライバーへの資源集中と次世代製品開発

生産体制の最適化

- クロロプレングム → DuPont社の事業買収に向けた契約締結
買収金額100～140億円・2015年上半期買収完了予定
- 高信頼性放熱プレート → 中国(大連) 新工場建設
投資額:約10億円 ・ 2015年末量産開始予定
- 電子部品搬送用部材 → ベトナム(ハノイ) 新工場建設
投資額:約 8億円 ・ 2015年9月末完成予定
- 中東・アフリカ地域の
営業拠点設立 → ドバイ首長国に現地法人設立 (2015年1月)

成長ドライバーへの資源集中と次世代製品開発

「環境・エネルギー」

アセチレンブラック → LiB用超高純度品製造設備稼働

千葉工場 ・ 2015年4月

「インフラ」

特殊混和材 → 建材メーカーPOSCO社(マレーシア)を完全子会社化

「健康」

- ✓ 迅速診断キット技術の水平展開 (エボラ・ピロリ・デング等…)
- ✓ 生活習慣病関連製品の拡大 (sd-LDL等 心・腎・肝疾患分野製品…)
- ✓ 各種ワクチン製造の新たなプラットフォームの開発 (がん治療ウィルス製剤等…)

Denka 3. 経営計画「Denka100」 具体的施策③

1. 株主還元方針

総還元性向 **50%** を基準

2. 還元方法

①配 当：配当性向 **最低30%** + 安定配当

②自己株式取得：株価水準・市場環境等に応じ **機動的に実施**

3. 成長に向けたM&Aなどの戦略投資財源

還元後内部留保 + キャッシュフロー **500億円規模**（2014年～2017年 4年間）

4. 期 間

経営計画「Denka100」（目標年度2017年）に向けた4年間

良好な財務バランス維持と株主還元・戦略投資最大化 → **ROE10%以上** を目指す

Denka 3. 経営計画「Denka100」 具体的施策③

株主還元関連数値の推移		2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 予想
当期純利益	(億円)	113	113	136	190	190
1株当り配当	(円/株)	10	10	10	※1 12.5	※2 12.5
配当額	(億円)	49	47	47	57	57
配当性向		43 %	42 %	34 %	30 %	30 %
自己株取得	(億円)	27	19	30	37	
総還元額	(億円)	76	66	77	94	
総還元性向		67 %	60 %	56 %	50 %	50 %
ROE		6.7 %	6.4 %	7.4 %	9.6 %	9 %

※1 普通配当10.5円・記念配当2.0円

※2 普通配当12.5円

目的：経営の透明性・健全性の更なる向上と
「攻めのガバナンス」拡充

現 行

取締役 9名（うち社外取締役 2名）



株主総会決議後

取締役 8名（うち社外取締役 3名）

数値目標（2017年度）

連結営業利益	600 億円 以上
営業利益率	10% 以上
海外売上高比率	50% 以上

新成長戦略

- ① 生産体制の最適化
- ② 徹底したコストの総点検
- ③ 成長ドライバーへの資源集中と次世代製品開発

Denka 4. 最後に ~ 次の100年に向けて

商号変更 (2015年10月1日~)

デンカ 株式会社
(Denka Company Limited)

Denka

できるをつくる。

Possibility of Chemistry.

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。